

様式第1号

会 議 録

会議の名称	平成25年度第2回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開催日時	平成25年8月21日(水) 午後2時00分から午後4時15分まで
開催場所	市役所 全員協議会室
出席者の氏名	大島委員、柳内委員、山口委員、岡村委員、中委員、生澤委員、高野委員、清水委員、二村委員、吉本委員、山上委員、稲津委員、柴井委員、根本委員、牛窪委員、小野委員、板谷委員、橋本委員、有田委員
欠席者の氏名	斎藤委員
議 題	(1)平成24年度の事業実績について (2)高齢者福祉・介護実態調査について (3)平成25年度地域包括支援センター事業計画について (4)その他
会議資料	会議次第 委員名簿 所沢市高齢者福祉計画推進会議設置要綱 資料1 平成24年度の事業実績について 資料2 高齢者福祉・介護実態調査の実施について 資料3 平成25年度地域包括支援センター事業計画について 参考資料 所沢市地域包括支援センター運営方針(平成25年4月)
担当部課名	福祉部 本橋福祉部長、美甘福祉部次長 高齢者支援課(池田課長、滝澤副主幹、斎藤副主幹、飯野副主幹、築地主査、稗田主任、坂田主任、長浜主任) 介護保険課(仲課長、岸主幹、平林主査) 健康推進部健康づくり支援課(岸課長、森澤主査) 事務局 福祉部高齢者支援課 電話 04-2998-9120

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>開会</p> <p>委員の改選に伴い、市長から委員へ委嘱状公布及び挨拶がある。</p> <p>各委員の自己紹介の後、委員の互選により、委員長に柳内委員、副委員長に二村委員が選出される。</p> <p>議事録の作成方法について、要約方式、委員名無記名とし、委員長の確認により確定することについて委員の了承を得る。</p> <p>委員により会議の公開が承認され、傍聴者が入場する（3名）。</p> <p><u>議題（1）平成24年度の事業実績について</u> 事務局より、資料1に基づき説明を行う。</p> <p>意見、質問等なし。</p>
事務局	<p><u>議題（2）高齢者福祉・介護実態調査の実施について</u> 事務局より、資料2に基づき説明を行う。</p>
委員長	<p>地域包括ケアシステムの基本的な単位である日常生活圏域について考え方を確認したい。</p>
事務局	<p>高齢者の日常的な生活範囲のことで、第5期計画で位置づけた地域包括ケアシステムでは、この圏域の中で様々なサービスが確保されることを目指している。圏域ごとに地域包括支援センターを設置することから、所沢市においては、以前より地域に密着した相談活動を行っている民生委員・児童委員との連携を考慮し、民生委員・児童委員協議会の地区割に準じて設定している。</p>
委員	<p>主に高齢者を対象とした調査を中心に設計されているが、今後高齢者になる世代等、幅広い市民を対象に高齢者施策についての意見</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>を聞いてはどうか。</p> <p>施策の検討に当たっては、できるだけ幅広い立場の意見を聞くことが必要と考えているが、限られた調査数の中で、必要な内容を効率的・効果的に調査する観点から、今回の案とさせていただいた。</p> <p>なお、他の部署ではあるが、幅広い世代を対象に毎年度実施する市民意識調査等の中で、高齢者施策に関する項目を設定することも調整により可能であり、状況に応じて活用を検討したい。</p>
委員	<p>新たにケアマネジャー調査を設けているが、地域包括ケアシステムの中核にも位置づけられている地域包括支援センターの職員については調査を検討する必要はないか。</p>
事務局	<p>地域包括支援センターについては、市の委託事業者であることから、センターの職員が集まる連絡調整会議（地域ケア運営会議）を毎月開催しており、計画策定に必要な実態把握のための意見聴取等についてもこの会議を活用してまいりたい。</p>
委員	<p>日常生活圏域の設定について、現在14の圏域が設けられているが、例えば富岡圏域は面積が広く、また西武新宿線をまたぐなど、必要な相談や支援を受けにくいという声も聞く。今後、圏域設定の見直しを行う考えはあるか。</p>
事務局	<p>現在の圏域は、平成18年度の地域包括支援センター設置の際に設定したものであるが、地域に根ざした相談活動を行っている民生委員との密接かつ円滑な連携や、その地区割りとの整合を図る観点から、第6期以降についても現在の圏域設定を継続したいと考えている。</p>
事務局	<p><u>議題（3）平成25年度地域包括支援センター事業計画について</u></p> <p>事務局より、資料3に基づき説明を行う。</p>
委員	<p>第5期より、地域ケア会議のあり方について国より方針が示されたと思うが、所沢市の考え方をお聞きしたい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>委員ご指摘のとおり、国では地域ケア会議の全国的な普及を図るため、地域の関係者が集まり、主に個別のケース検討を行う場としてそのあり方を示したところである。所沢市では、従来、地域の関係者をはじめとしたネットワーク構築を主な目的として実施してきており、支援を必要とする高齢者等の様々な情報が速やかに地域包括支援センターに集約される体制づくりを進めている。</p> <p>国が示した方針と異なる部分はあるものの、そうした活動の中から導き出される地域課題の把握や連携体制の構築など、最終的な方向性は国が示す地域ケア会議と共有されるものであり、国の担当官と話をする中でも理解を得られるなど、双方の考え方を取り入れながら効果的な会議の開催を進めていきたい。</p>
委員	<p>高齢者生活支援パンフレット（買い物支援マップ）作成への取り組みについては、商店街連合会としても大変うれしく思っており、既に作成されている新所沢以外の13地区でも幅広い周知をお願いしたい。</p> <p>地域包括支援センターがいまでもまだ認知されていない状況にあるという話を聞く。他の市町村では、高齢者になじみやすいよう「地域包括支援センター」という名称を変更しているところもあるが、所沢市でも一層の周知を図る観点から、事例等を見つつ検討してみてはどうか。</p>
事務局	<p>地域包括支援センターの名称変更については、以前にもこの会議で意見が出されたことがあり、その際には、設置後間もないこともあり、まずはその定着を図るべきとの観点から「地域包括支援センター」の名称を継続したい旨を回答したところである。</p> <p>現状における認知度等を勘案しつつ、実際に名称を変更した自治体の状況について、調査等を検討したい。</p>
事務局	<p><u>議題（４）その他</u></p> <p>指定管理者制度により運営し、今年度で指定期間が終了する老人デイサービスセンター４施設、老人憩の家４施設、養護老人ホーム亀鶴園、及び第５次行政改革大綱に基づき平成２６年度より指定管</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>理者制度による運営に移行する老人憩の家4施設について、平成26年度からの指定管理者の選定事務を進めている旨を報告した。</p> <p>また、8月24日に開催される、第5回医療職・介護職合同交流会について報告した。</p>
委員	<p>医療と介護の連携の推進に関して、2年ほど前に市と関係団体との検討の場が設けられ、継続するということがあったが、今後の開催予定があるかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>開催に向けて検討させていただきたい。</p>
委員	<p>市で実施する高齢者対象の事業について、対象年齢が統一されていないが、整合をもって取り組む必要はないか。</p> <p>地域ケア会議等に構成員として参加しているが、新たな人が加わった場合に、地域包括支援センターがどういうものなのか知らず、また、十分に理解されないまま会議が進むなど、市として、地域包括支援センターとして、もう少し周知に向けて積極的に、丁寧な説明が必要ではないかと感じた。</p>
委員長	<p>地域包括支援センターについては、市でも運営方針を示すなどしているところであるが、ほかに市から何かあるか。</p>
事務局	<p>事業の対象年齢については、制度として定められているものや、目的に応じて対象年齢を設定しているものがあり、単純に統一することは難しい。</p> <p>地域包括支援センターの周知については、支援を必要としていない状態にある高齢者には、やはり時間がかかると実感している。しかし、今年度、高齢者生活支援パンフレット（買い物支援マップ）の作成に際し、地域包括支援センター職員が商店等との調整や交渉を進めることで、これまでにあまり周知の対象となっていなかった層への周知効果が見込まれるなど、様々な取り組みを通して認知度の向上に努めていきたい。</p>
委員	<p>地域包括支援センターを運営する側として、少し現状をお話しし</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>たい。地域包括支援センターは3職種の配置を原則とされ、約6,000人の高齢者がいる新所沢地区の地域包括支援センターでは5人の職員を配置しているが、何でも屋に近い実態の現在の業務量に限界を感じている状況にある。ボランティアや地域の方々と一緒に支援する体制を作っていかなければならないと感じるとともに、地域に根ざした関係を築くには時間をかける必要があり、運営側としては、圏域の変更はしないことが望ましいと考える。</p> <p>新所沢地区では、高齢者生活支援パンフレット（買い物支援マップ）に先立ち、「しんとこ生活お役立ちマップ」を作成したが、買い物支援だけでなく、トイレや疲れたときに座れるベンチなども記載し、様々な面で役立つものとなっている。</p>
委員	<p>コバトンお達者クラブについて、サロン活動を実施するボランティア団体でも、スタンプ押印場所として登録することは可能か。</p>
事務局	<p>コバトンお達者クラブ事業は埼玉県が主催する事業でもあり、確認し、回答させていただきたい。</p> <p>閉会に当たり、副委員長より挨拶がある。</p> <p>閉会</p>